

方ありた 議会だより

2019 9月議会 No51



佐賀県中体連優勝 表彰式

「僕たちは、有田町のみなさんの応援のおかげで
30年ぶりの優勝をつかみとることができたと思います。
ありがとうございました。
今後も西有田中野球部をよろしくお願いします。」

西有田中学校 野球部

教訓 至誠一貫



西有田中学校 校舎

町が抱える課題を問う！

- ◆令和元年一般会計補正予算 P 2 ~
2 億 6,5 2 2 万円を増額補正
- ◆町政のここが知りたい
一般質問 11 人が町政を問う P7~
- ◆令和元年 10 月 31 日発行

令和元年 第6回定例会（9月議会）

令和元年9月議会は、9月3日から13日まで11日間の会期で開催されました。

令和元年度 一般会計予算 2億6,522万円を増額補正し112億5,098万円に

主な事業として、老人福祉センター事業1,141万円、歴史と文化の森公園管理事業703万円などを補正しました。

(単位：万円)

主 な 事 業	内 容	金 額
老人福祉センター事業	電圧切替工事他	1,141
歴史と文化の森公園管理事業	焔の博記念堂空調熱源機器更新工事・下の溜池(黒川)浚渫工事他	703
施設等利用給付事業	子育てのための施設等利用給付負担金	509
保育所等整備交付金事業	保育所等整備交付金事業補助金	311
農業水路等長寿命化・防災減災事業	県営古木場ダム修繕工事負担金	253
リサイクルプラザ修繕事業	施設等修繕費	213
小中学校ICT機器活用事業	ICT支援委託料	198
プレミアム付商品券事業	プレミアム付商品券事務委託料他	120

特別会計・企業会計補正

○ 国民健康保険特別会計	3,868万円	(保険給付費等交付金償還金等の増)
○ 後期高齢者医療特別会計	70万円	(後期高齢者医療広域連合納付金の増)
○ 介護保険特別会計	10,007万円	(償還金等の増)
○ 浄化槽整備推進事業会計	141万円	収益的収入(長期前受金戻入)
	710万円	収益的支出(維持管理費、減価償却費、利息及び取扱諸費)
	3,512万円	資本的収入(建設改良企業債、補助金、負担金)
	3,493万円	資本的支出(施設建設費、基金)
○ 水道事業会計	125万円	収益的支出(総係費)
	292万円	資本的収入(補償費)
	1,473万円	資本的支出(配水管布設費、原水施設費)

目次																
議会傍聴感想、あとかぎ	一般質問											タブレット導入	委員会報告		議案審議結果	令和元年度補正予算
	蒲原	今泉	福島	古賀	原田	樋渡	池田	岳川	松永	中島	諸隈		産業建設、文教厚生、総務			
	食品ロス削減は	上下水道管の老朽化対策は	子どもの貧困問題は	産業界再生策と企業誘致は	自転車走行の指導状況は	南部工業団地の開発は	AEDを集落に	町の財政状況は健全か	有田駅前には有田らしさを	磁器製鳥居の補修は	ふるさと納税の対応は					
P18	P17	P16	P15	P14	P13	P12	P11	P10	P9	P8	P7	P6	P5	P4	P3	P2

令和元年第6回定例会における議案の審議結果

議案番号	提 出 議 案	審議の結果
報告第5号	平成30年度決算に基づく有田町財政健全化判断比率の報告について	賛成全員
報告第6号	平成30年度決算に基づく有田町公営企業資金不足比率の報告について	賛成全員
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成全員
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成全員
議案第53号	平成30年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定について	賛成全員
議案第54号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について	賛成全員
議案第55号	有田町印鑑条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第56号	有田町税条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第57号	有田町手数料条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第58号	有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第59号	有田町廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第60号	有田町都市公園条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第61号	有田町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第62号	有田町歴史民俗資料館条例等の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第63号	指定管理者の指定について（有田町多世代交流センター「ゆいたん」）	賛成全員
議案第64号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	賛成全員
議案第65号	財産の取得について（小型動力ポンプ付消防団積載車2台）	賛成全員
議案第66号	有教学第387号 有田小学校旧校舎解体工事（平成30年度繰越）建設工事請負契約の変更について（反対討論）継続審議を求めます。（池田議員）	賛成多数 (賛成14人・反対1人)
議案第67号	有田中部小学校空調設置工事（H30繰越）建設工事請負契約の変更について（反対討論）継続審議を求めます。（池田議員）	賛成多数 (賛成14人・反対1人)
議案第68号	有田中学校空調設置工事（H30繰越）建設工事請負契約の変更について（反対討論）継続審議を求めます。（池田議員）	賛成多数 (賛成14人・反対1人)
議案第69号	令和元年度有田町一般会計補正予算（第2号）について	賛成全員
議案第70号	令和元年度有田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	賛成全員
議案第71号	令和元年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	賛成全員
議案第72号	令和元年度有田町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	賛成全員
議案第73号	令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算（第1号）について	賛成全員
議案第74号	令和元年度有田町水道事業会計補正予算（第1号）について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は委員会報告をご覧ください。

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則
副委員長 久保田 均

▼平成30年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

岳川委員 あげがつぶれたり、法面が崩壊したなどの災害による被害やイノシシ被害にあった場合の補助事業はないか。

農林課長 農業用の水路などについては「多面的機能の長寿命化事業」の交付金を活用し、集落単位で取り組むことが可能である。

梶原委員 菅野公園への道は日ごろから道路まで土砂が崩れていて、溝がいとも埋まっているが対策は。

建設課長 町道との境に土砂が入って堆積しているのだと思う。日ごろから維持管理をしていきたい。

梶原委員 今回の大雨で外尾山交差点あたりまで水

がたまっていた。また、南原の工場で浸水被害が出たが対策は。

建設課長 外尾山ガード下冠水対策工事は、令和元年度に竣工予定だが、用地買収が一部残っており、9月中に契約して起点側のガード下を施工する予定。また今回の大雨で下流域が浸水した経緯もあり、浸水被害がないように護岸嵩上げ対策の検討を県にお願いしていきたい。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町都市公園条例の一部を改正する条例

久保田委員 桜ヶ丘公園の民地の部分を一部所有者へ返還することになったが、トラブルはなかったか。

建設課長 所有者には話をしたが特にトラブルはなかった。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町一般会計補正予算(第2号)

岳川委員 大雨で水路に入ってきた土砂を上げる場合はどうしたらよいか。

建設課長 排水路は地元管理でお願いしている。もし重機などを使用される場合は「4分の3の補助事業」があるので相談をしてほしい。

梶原委員 佐賀大学からNTT交差点までの展示スペースの利用は、高速を下りてからの町の玄関口でもあるので、有工生や陶交会など、佐賀大学生以外の作品なども展示して、早急に対応を。

商工観光課長 管理自体も佐賀大学にお願いできたらと考えている。展示については、佐賀大学との協議をしていきたい。

(採決の結果) 賛成全員

次の議案は賛成全員で可決するべきものと決しました。

▼有田町廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

▼令和元年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第1号)

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 今泉藤一郎
副委員長 蒲原多三男

▼平成30年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

諸隈委員 民生委員の成り手不足は生じていないか。

健康福祉課長 各地区からの選任だが、今回特例で区長兼務を認めた事例もあった。

蒲原委員 災害時などに避難行動要支援者名簿の使用はできるか。

健康福祉課長 緊急時は同意がなくても、名簿の提供はできる。

諸隈委員 奨学金貸付事業で返済金額の推移は。

学校教育課長 償還が済まれてきている状況。額の変動増は繰上償還による。

藤委員 生涯学習課関連施設

▼令和元年度有田町水道事業会計補正予算(第1号)

設管理費はどうするか。

副町長 公的施設の管理計画を個別に作るが、統廃合となれば反対も起きるので、その折は議員各位にも地区への説明を願う。

藤委員 生活習慣病の人数や、町費の負担額の上位は。

健康福祉課長 平成30年5月診療分で、
高血圧症1209人
脂質異常症1057人
糖尿病553人
平成30年度給付額で、1位3位が慢性腎不全、糖尿病、高血圧症である。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

藤委員 無償化の対象者と、

副食費免除の対象者数は、子育て支援課長 無償化は3歳～5歳の児童で508人。0歳～2歳が18人。副食費免除対象児童が168人の予定で、徴収する児童は340人。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町歴史民俗資料館条例等の一部を改正する条例

藤委員 金額の設定について、もう少し値上げしても良かったのではないか。文化財課長 公設の資料館入館料としては、この程度の金額設定が妥当だ。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町一般会計補正予算(第2号)

諸隈委員 放課後児童クラブの大雨時の閉所基準はあるのか。

子育て支援課長 保育園は基本的に開けるのが原則である。放課後児童クラブは大雨の中、通学中に事故があったらいけないので、事前に閉所とした。

諸隈委員 多世代交流セン

ター「ゆいたん」は保育士の確保はできるのか。

子育て支援課長 介護士や保育士の確保はできる見込み。

藤委員 焱の博記念堂(下の溜池)黒川の浚渫工事はなぜ、生涯学習課の予算なのか。また、今後どうするのか。

生涯学習課長 世界・焱の博覧会の折に、地元と協議して整備されたため、当課で予算を組んでいる。

副町長 地元と協議して、1年に1度、水を抜くなどして、対策を考えていく。

(採決の結果) 賛成全員



▲下の溜池(黒川地区)

次の議案は賛成全員で可決するべきものと決しました。

▼有田小学校旧校舎解体工事(平成30年度繰越)建設工事請負契約の変更

▼有田中部小学校空調設置工事(平成30繰越)建設工事請負契約の変更

▼有田中学校空調設置工事(平成30繰越)建設工事請

負契約の変更

▼令和元年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

▼令和元年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

▼令和元年度有田町介護保険特別会計補正予算(第2号)

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和

学校系の3回線の契約である。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成30年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

中島委員 町債の中で、消防費が3倍程伸びているが理由は。

財政課長 有田消防署の建設工事を行っているため。

樋渡委員 インターネット接続通信費は、どの様な契約か。

財政課長 県のセキュリティクラウド、図書館系、

▼有田町印鑑条例の一部を改正する条例

松永委員 印鑑登録に旧姓を使うことができるという事だがメリットは。

住民環境課長 婚姻後も旧姓を使う。

(採決の結果) 賛成全員

▼指定管理者の指定

池田委員 多世代交流センター「ゆいたん」の収支計画が出されていたが、

今後赤字が出た場合は指定管理者が補てんするの

健康福祉課長 本協定を結ぶ際の文面で考える。

松永委員 収支計画では社会福祉協議会が実施する事業収入はなぜ町の収入となるのか。

子育て支援課長 社協の事業収入は一旦町へ入れる。これは交付金を有利に交付していただく措置である。

(採決の結果) 賛成全員

▼財産の取得

松永委員 消防団積載車購入で下取りなどは。

総務課長 購入する段階で価格に含めた形で見積書を取る。

(採決の結果) 賛成全員

▼令和元年度有田町一般会計補正予算(第2号)

樋渡委員 タブレット導入事業で、予定されていた金額より減額されているが。

議会事務局長 入札の結果、減額となった。

樋渡委員 防犯カメラの設置はどこか。

総務課長 町内4カ所の小学校である。

中島委員 合併振興基金事業の減額について説明を。まちづくり課長 利息が毎年90万円程発生しており、これを予算化しているが、今回は組み替えて新規に「あいたを誇りに思う教育推進事業」を計上した。

(採決の結果) 賛成全員

このほか次の議案は賛成全員で可決しました。

▼消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例

▼有田町税条例の一部を改正する条例

▼有田町手数料条例の一部を改正する条例

▼有田町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

有田町議会にタブレット導入

副議長 原田 一宏

議会改革の一環として、前期議会より議会のペーパーレス・タブレット化を唱え、今年度より導入することとなりました。

タブレット導入により、議会資料のペーパーレス化はもちろんのこと、資料の更新、差し換え等がスムーズになります。また議員に限らず、町執行部側も同時に導入し、議会運営の効率化を高めます。

また、いつでも、どこからでも資料の検索やその他の情報を確認できるようになります。

導入までの経緯として、まずは平成29年7月にみやり町議会を訪問し、研修を

受けました。その後、数回にわたって勉強会を行い、業者等からの説明や指導を受けてきました。町執行部とも検討を重ね、今回の9月議会から、タブレットの使用を一部開始しました。

9月議会は初めての使用ということもあり、ペーパー(決算書や決算実績報告書など)も併用した議会となりましたが、12月議会から本格的な導入となります。

実際使ってみると、なかなかうまくいかず、議会事務局や議員間で操作手順を教えてもらったりの連続でした。

一部議員は一般質問の資料として、タブレットを活用して写真等での説明もしていました。

使用していくには、それなりの時間や慣れも必要になってくると思いますが、せっかくタブレット導入を実施したからには、大いに活用し、有田町議会は勉強、努力していると、他市町議会や町民の皆様から言われるようにしていきたいと思っただ次第です。

■タブレット導入までの経緯

- ▶平成29年4月20日
全員協議会で協議
- ▶平成29年7月7日
みやり町先進地視察
- ▶平成29年9月20日
タブレット勉強会
- ▶平成29年11月8日
タブレット勉強会
- ▶平成30年10月19日
タブレット勉強会
- ▶平成31年3月15日
新年度予算可決
- ▶令和元年9月3日
9月定例会一部導入



▲議場のようす

議員や執行部は机上のタブレット画面で資料等を閲覧します。傍聴席には大型モニターが設置されており、映し出される写真など、傍聴者の方々もご覧になることができます。

「ふるさと納税」の今後の対応は

答 10月から1年間の指定の許可が出るものと考えている



諸隈 洋介 議員

ふるさと納税の
今後の対応は

議員 有田町は今年の5月、総務省より指定対象団体とされた。その期間である6月から9月までの4カ月で終了するが、今後の対応は十分なのか。

総務課長 7月に総務省に申請をした。また、8月26日に総務省に出向きヒアリングを受けたが、特に問題がないと認識している。10月から1年間の指定の許可が出るものと考えている。

議員 以前から総務省や佐賀県に対して確認して運営してきたことだが、結果は4カ月の指定対象団体とされた。この件に関して町の責任は。

総務課長 消費税の取扱いについて、問題ありとの指摘を受けた。4月以降は正しており、問題はないと考える。

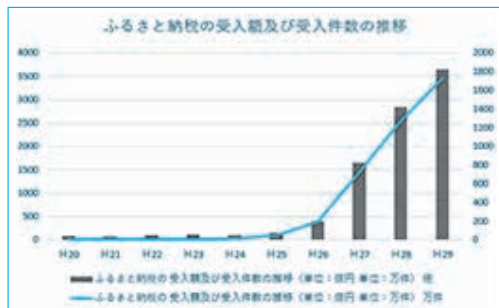
議員 県産品指定についてどうなっているのか。

総務課長 県産品の取扱いについては総務省が示している基準がある。たとえば返礼品が区域内において生産されたものであるなど、様々な規定がある。地場産品以外の特例措置として※「イ・

□・ハの三つの条件」があり、現在は佐賀県産として、「ハ」の条件に沿って地域資源としての佐賀牛、肥前さくらポーク、有明どり、ありたどり、佐賀海苔、指定銘柄のイチゴ、みかんなどが県産品として指定されている。

また、「イ」の条件で近隣市町より有田産の返礼品として取扱いしたいとの申し出があり、地域間協定締結に向けて協議中。県全体での取扱いについては、有田焼のブランドに傷がつかないように配慮して県と慎重に協議する。

議員 今後数年、ふるさと納税は安定した税収が見込める可能性が高い。



※イ□ハの三つの条件

イ、謝金その他の経済的利益の供与や寄付者を紹介させる方法による募集を行わないこと

□、返礼品などを強調した宣伝広告を行わないこと

ハ、寄付先の選択を阻害するような表現を用いた情報提供を行わないこと

しっかりと取り組むべきである。ぜひ、佐賀県産品として、他の市町にも取扱ってもらえるように、早急に対処すべき。

子育て支援の
現状認識と対策

議員 子ども・子育て支援に関するアンケート結果に対する認識と対策は。

子育て支援課長 有田町では、第二次有田町子ども子育て支援計画の策定に向けて、子ども支援ニーズ調査と、子どものいる世帯の状況調査の結果をまとめた。

子ども支援ニーズ調査では、子育てしやすい町になるために重要なものは何かとの設問に対して、子どもの医療機関の整備が44・4%、仕事と子育てが両立できる職場環境が36・7%、遊び場や公園などの施設の充実が33・9%との結果である。子育てのしやすい環境整備をすることが、子育て世代への支援となり、移住定住にも必要と考える。

議員 アンケート結果を閲覧したが、胸が痛む

事案も多かった。また経済的な理由から進学を諦めざるを得ないとの回答もあり、学歴による貧困の連鎖を食い止めるためにも、給付型の奨学金なども含めて検討すべきと思うが。

教育長 現在4つの奨学金は貸与型で対応しているのでは考えていない。

議員 有田町の出生数減少に対する認識と対策は。

子育て支援課長 有田町の子どもの出生数の現状を憂慮している。町全体として総合的な政策が必要と考える。

その他の質問

◇所有者不明な土地の有無

◇観光行政の体制と合理的運営



中島 達郎 議員

国の登録有形文化財磁器製鳥居の補修は

答 町は側面から協力できれはと考えている

観光の質の向上は

▽公衆女性用水洗トイレの増設や洋式化は

議員 主に陶器市では毎年、公共の水洗トイレに女性買物客の行列ができる。その対応策は。

商工観光課長 町としても観光の質の向上を図るためにも、女性用水洗トイレの増設は必要と認識しているが、国や県の補助で洋式化を進めているのが現状である。

議員 公園などの水洗トイレの普及率は。

商工観光課長 観光トイレでは、10力所中8力所が水洗である。

▽磁器製鳥居の補修は

議員 国の登録有形文化財であり、町の重要な観光資源でもある磁器製鳥居が、上部を中心に数箇所破損しており、落下の危険性もあり緊急な補修が必要ではないか。

商工観光課長 町の重要

な観光資源であるが、神社の所有であり、町が主体的に修理するのは難しい。有志の方々が磁器製鳥居修復準備委員会を立ち上げ、補修に向けた準備をしている。町としては、側面から協力できればと考えている。



▲損傷著しい磁器製鳥居

町の図書館利用の向上は

▽通帳型「読書の記録」のシステム導入は

議員 大分県杵築市立図書館では、子ども達の図書館利用を促すため導入して好評であるが。

生涯学習課長 まず平成30年度の子ども達への本の貸し出し状況は、東図書館では、小学生は5,939冊、中学生は449冊。西図書館では、小学生は3,379冊、中学生は358冊。合計で10,125冊。

システム導入で本の貸出率の向上は見込めるが、導入及び保守管理でそれなりの経費もかかり、現段階では考えていない。

議員 教育長は、通帳型読書の記録をどう思うか。

教育長 読書推進には、有効な形のものと思うが、経費の面などで今後、検討したいと思う。

歴史と文化の森公園の芝生広場の活用

▽健康寿命アップにも

議員 芝生広場の外周はおよそどのくらいか。

生涯学習課長 約510mある。

議員 芝生広場の周辺に、健康増進のためのジョギ

ングコースと、体力アップを図るトラックコースを併設し、100m毎の距離表示盤の設置はできないか。

生涯学習課長 健康増進に繋がるコース設定だが、当施設には噴水広場を起点としてアンツーカーの路面ではないが、公園外周にジョギングやウォーキングに利用できる100m毎に表示のある1kmのコースもある。また築20年以上経過し、改修箇所も多く、他の老朽化した体育施設なども含め、公共施設等総合管理計画と整合を図り充分な協議・検討が必要。

町所有のマイクロバスは

▽経過年数は

議員 2台のマイクロバスの登録年などは。

総務課長 グレーのマイクロバスは、平成7年式、走行距離213km。白のマイクロバスは、平成

13年式103km。利用度は、グレーが139回、白が85回（平成30年度）。公用82回、学校利用67回、社協10回、その他61回。各々1年車検で管理している。また、ディーゼルエンジンで耐久性もあるが、グレーのマイクロバスは年式も古く、買い換えについては、財政計画で協議し盛り込みたい。

8月15日正午のサイレン吹鳴・黙祷

▽恒久平和を願う

議員 8月15日の正午には、通常の時報ではなく戦没者への祈りを捧げるサイレン吹鳴はどうか。

総務課長 黙祷は町ホームページで町民の皆様へ推奨。庁舎内でも黙祷している。サイレン吹鳴は事前に周知し、武雄市の吹鳴も参考に検討したい。

町長 平和は大事。8月15日は、町民と一緒に平和を祈る時間を共有したい。

有田駅前に有田らしいモニュメントを

答 設置用地や安全面の検討が必要



松永 俊和 議員

公園の維持管理

▽公園の現状と管理は

議員 公園は町民の憩いの場やスポーツなど集いの場、また災害緊急時には避難場所になると思う。町内には、都市公園・農村公園・児童遊園の違いは。

建設課長 都市公園は、都市計画法に基づいて定めた施設。農村公園は旧西有田町で整備した公園。児童遊園は、主に幼児や子どもたちの遊びの場公園である。

議員 公園管理の現状、また、児童遊園の遊具設置状況の把握と遊具履歴書の整備ができていますか。

建設課長 公園管理は町が直接管理しているところや一部委託による管理をしているところがある。遊具設置施設については、遊具点検履歴書も完備して年に1回、専門技術者による点検を行っている。

▽本町児童遊園の現状

議員 地区の老人会が草刈りや清掃活動を毎月1回されている。また、本町地区の老人会は、遊園を利用する子どもたちが安全で気持ちよく遊べるようにと、ボランティア活動で行われている。



▲本町児童遊園の現状

ところが最近、遊具が撤去された。バネ式の遊具と砂場だけになり、「子どもたちが悲しんでいる」「幼児の遊べるところがない」「清掃する気になれない」などの声がある。

本町以外からの利用者もたくさん居られ、戸外で児童が安心して遊べるところが少なく唯一の遊園をなくしては利用者が困る。ぜひ遊具の設置を。
建設課長 遊具の経年劣化で撤去した。設置は検

討する。

有田駅前整備

▽駅前にモニュメントを

議員 以前から観光客が有田駅を降りて「焼き物の町、有田に着いたイメージが湧かない」という声が多く聞かれる。提案だが、駅前に大きな泉山陶石を設置し、自由に金槌で削り持ち帰ることができるようにする。陶石の補充もでき、削るシーンを記念撮影してインターネットに上げるなど、インスタ映えする事で若者に有田をアピールすることができると思うが。

商工観光課長 設置する場所や安全面など課題も多い。現在、陶石も置いている。

議員 今設置している陶石は小さい。もっと大きい、高さが大人より大きな陶石でないとインパクトに欠ける。観光客の記念になるし喜ぶと思う。

▽駅前に電子掲示板を

議員 駅前に看板がない。町内各地で行われるイベントや行事を随時紹介することができ、電子掲示板がほしい。普通の看板は、イベントごとに書き直しなくてはならない。電子掲示板は内容表示が容易に変更でき時間がかからない。テロップ形式で情報を流し、新しい町の情報発信手段として設置をして欲しい。

商工観光課長 ランニングコストや設置費用等を検証する必要がある。



▲400年事業の看板

議員 設置場所は今ある400年事業の立て看板を利用しては。初期費用は必要だが、テロップで流すところにスポンサーを募り、電源はソーラーパネルを併設すれば、維持管理も節約できるのでは。

▽陶器市意見交換会を受け町の対応は

議員 商工会議所の事業であるが、110回を超えて続いている伝統のある町の一大イベントである。近年では開催のための予算・負担金・家賃問題や、参加者の減少・店舗の売り上げ減少など、陶器市の在り方を見直す時期になっている。

予算不足に対する追加補助は可能か。

商工観光課長 運営補助金で300万円補助を行っている。追加は今のところ難しい。

議員 予算不足を理由にPR活動費が減る傾向になっている。お客様の世代交代が進む中、若者に対する新たなPR活動をしなないと有田焼ファンが減る傾向を止めることができない。

町長 商工会議所と町や町民と共に対策を考えていかなければいけない。



岳川 淳彦 議員

町の財政状況は、健全であるのか

答 健全な方向に向かっている

町の財政状況は健全か

議員 町の予算が適正に執行されたのか、補正予算がどのように組み立てられたのかを、町民の皆様にご理解してもらうために、9月と3月の決算の状況を広報誌で、年2回公表されている。町の財政状況は健全であるのか。

財政課長 財政の健全化を示す指標として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの財政指標がある。いずれも数字が大きいほど財政状況が悪いと言える。実質公債費比率は、過去10年間を見ると財政は健全な方向に向かっている。

議員 昨年、どう変わったのか。

財政課長 実質公債費比率は1ポイント上昇したものの、将来負担比率は大幅に改善した。その要因として、地方債残高の減少や、ふるさと納税の

積み立てが多くあった。

議員 町の人口が今年の4月現在で2万人を割った。昨年1年間で154人、今年4月では、129人と毎年人口減が進む中、町の財政にも大きな影響を及ぼすと考えられる。収入の予想や減収の予想はどのように考えているか。先の見通しは。

財政課長 12月頃を目途に今後5年間の財政シミュレーションを作成している。現時点では、地方税に關して人口減もあり、地方交付税も、令和3年以降は、横ばいか、減少傾向になる。10年後の見通しは分からないが、扶助費や補助費など増額し、また公共施設の老朽化に伴う改修など、財源確保が今後の問題となってくる。

議員 収入を増加させる対策はあるのか。

財政課長 人口減少が予測されている現状では標準財政規模が縮小し、町税や地方交付税などの減

額が予測され、歳入の確保が重要になってくる。町税の徴収率向上、保有資産の売却と活用、公平な負担の推進が考えられる。

議員 一人当たり税収は平均どれくらいか。また町税の種類は。

税務課長 町税の種類として、個人町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税で、30年度は総額16億9228万9千円を、30年1月現在の人口2万336人で割ると、一人当たり、8万3216円となる。

議員 町債の状況は、ここ数年でどのように変動しているのか、また合併特例債の状況は。

財政課長 ここ数年は増加傾向にある。その要因として、文化体育館の改修、有田小の建設など合併特例債を活用した事業の増加によるもので、期間は平成18年から令和2年まで。また、新町建設計画の見直しを行うこと

で5年間延長して活用ができる。現在の起債可能額は、17億1900万円である。

今後の農業振興策は

議員 県は「食」と「農」の振興計画2019をまとめた。大きな目標として「稼げる農業の確立」と「活力ある農村の実現」を掲げた。今後の農業政策の方向性や、振興計画など町の考えは。

農林課長 平成26年度に農業振興地域整備計画を見直し、農業の効率的かつ安定的な農業経営の目標を定めている。

また高齢化による担い手不足や、耕作放棄地の拡大も懸念されることから、国や県、また町単独の補助事業のメニューをそろえ、農家の要望や新規就農者の農業経営の相談に応じていきたい。

議員 中山間地の振興は簡単に解決策を見出せない問題だけに、国や県、町が一体となり、これらの農業を進化させていかなければと思う。中山間地の課題解決策や対策など町の考えは。



▲中山間地の圃場

農林課長 中山間地農業において、害獣被害は深刻な課題である。対策として電気柵やワイヤーメッシュなど、交付金事業で設置事業を行っている。また、高齢化に伴い軽量化の露地野菜栽培への取り組みが、有効な手段になると考えている。

突然死を防ぐAED 自動体外式除細動器を集落に

答 貸出し用の活用を



池田 栄次 議員

AED

(自動体外式除細動器)

▽学校での操作訓練

議員 学校の教師は毎年入れ替わる。全教師がAEDを操作できるのか。学校教育課長 全校で毎年訓練している。医療機器なので、講習を受けた者でないと操作できない。

議員 その認識は間違いない。資格は要らない。その場に居合わせた者が救急車手配、胸骨圧迫、音声ガイドに従えば操作できる。操作を失敗しても過失は問われない。



▲AEDは誰でも操作できます

▽分からない設置場所

議員 学校の設置場所が分からないと聞く。玄関や収納ボックスに施錠されていても困る。運動場

近くの設置が望まれている。

学校教育課長 学校では玄関に設置している。また生涯学習センターの貸出し用AEDの活用もできる。

教育長 学校施設での緊急時には、誰でも活用できるように検討したい。

▽集落にAEDの配置を

議員 不整脈の心室細動は致死率が高く、5分以内に除細動が必要とされる。町の施設から集落まで5分以内に届く確率はゼロに近い。町民の命を救う施策としてAEDの集落配置を。

総務課長 補助は考えられる。生涯学習センターの貸出し用の活用を。

議員 消極的な答弁で残念だ。《突然死は朝の起床時が一番多い》《起こしに行ったら・・・》とよく聞く。遠くに借りに行く時間的余裕はない。町民の命を守る施策を優先すべきだ。

南部工業団地と企業誘致

▽県との折半対象事業

議員 6月に「周辺道路の整備や河川改修、水路・水道設備、誘致奨励金などは町の負担」と答弁を受けたが、県との共同で折半以外、町の負担になる説明はなかった。

まちづくり課長 基本的に37haの造成部分は折半対象で、周辺道路や水路・水道整備、奨励金などは町の負担となる。

議員 当初から折半対象を明確にすべきだった。

▽経済動向と誘致の判断

議員 政府の月例経済報告を基に企業誘致を尋ねた際、「経済は動く。その波を上手く捉える」と答弁された。では誰が、いつ、何を基準に経済の波を上手く捉え、企業誘致の判断をするのか。

副町長 一般論だが、経済の不況下でも業績を伸ばす企業もある。その動

きを上手く捉えるべきとの思いで申し上げた。

議員 その判断は企業がするのではないのか。

副町長 企業の動きを上手く捉え誘致につなげる必要がある。町は如何なる経済状況でも、それに対応できる造成などの備えが重要だと思っている。

▽働く場所の確保

議員 南部工業団地は「働く場所の確保」とも答弁された。今、有田でも求人広告が目立つ。日本産業は外国人で成り立つほどに人口も減り、人を求める企業が増えた。

旧有田町が「有田工業団地」を造成する際、「高賃金の企業に職人を引き抜かれては」と町内企業が反対し、断念したと聞く。今回も同じ現象が起きるのでないか。

まちづくり課長 誘致する企業によって、近隣市町を含め一体的に労働力を確保する必要がある。
議員 職種にもよるが、

町内企業と類似の企業には、高賃金で職人が流れるのは自然の流れだ。

町営住宅の保証人

▽社会的弱者の保証人免除

議員 国は、単身高齢者や生活保護受給者など、住宅確保に配慮が必要な人に、連帯保証人がなくても公営住宅に入居できるように通達しているが、町はどう対応したのか。
建設課長 国の方針に沿うよう、12月議会に条例改正案を提案したい。

▽敷金返還義務と現状

議員 借主が入居時に預託した敷金は、家賃滞納などがなければ全額返還すべきとする改正民法が来年4月から施行される。町営住宅での対応は。
建設課長 現在、敷金は返還している。



樋渡 徹 議員

南部工業団地の開発は慎重に

答 議会で、しっかりと審議したい

南部工業団地の開発

議員 町議会においても、

南部工業団地の開発をオーダーメイド方式で行っていたのでは、山林の造成から稼働までそれなりの期間を要し、企業の誘致が難しいのではないかとこのことで、既製方式に変えて造成しようとの方向転換の議論がなされてきた。

概算として、造成には総額約30億円の費用を要する試算が出ているが、費用は、県との折半なので半分ということになるが、財政規模約100億の有田町で、15億を超える負担は、15%にもなる。慎重に考慮しなくてはならない項目として、

①工業団地は近隣では、若木の分譲や、伊万里市が松浦町に造成中である。②地方への企業の移転目的は、都会に比べて若者の安価な賃金と豊富な人材確保である。毎年4

月に町内人口の減少に見られるように、高卒者の流出を防げるかと、大学卒業後の地元への帰郷が

力である。都会との賃金格差が大きければ、流出は止められない。

③人材確保の問題として、外国人による就労に頼った時、今後、日本人が来てくれるかなど、疑問の点もある。

(就労のための入国費用の上乗せや労働賃金からの搾取など、問題になりつつある)

海外からの就労者集めに町は関与するのか。

まちづくり課長 町としてその点をどうするという発言はできない。

議員 有田中部小学校建設予定地であった土地は、20年以上もそのまま置く。そこを積極的に売り出して、様子を見ることはできないのか。

まちづくり課長 1・8haの用地の件であるが、工業用地としてのPRは行っている。

町長 南部工業団地と同じく、コンパクトな用地もありますとのPRは、町として行っている。

議員 南部工業団地開発について、広く町民の意見を聴くパブリックコメントの考えがないかお尋ねする。理由としては、

①住民が納得して造るうとなった場合は、結果が悪くても仕方ないとなる。

②有田小学校の件で、来年の新入生がいないと聞かれた方から、未だに不満の声がある。

町長 議会にて、しっかりと審議をしたいと思っている。また新入生2桁は確保できていると思う。

議員 県との折半事業とのことだが、県に一任は可能か。

まちづくり課長 県との共同事業なので考えられない。

地区公民館の有効利用

議員 昔は地区の公民館

には鍵もかかっていた。子ども達の頃、自由に利用でき、卓球などを楽しんでいた。

今は公民館内の備品も高価で盗難などの心配もあり、地区の分館長さんも、現役の方がされていく目が見えないので、施設された状況と思う。

今の子どもたちは、学校から帰るとゲームをして過ごし、屋外の活動が少ない。地域の子どもたちを、地域で見守る事も含めて上級生が下級生を、又、地域の高齢者が、子ども達との交流を深められるような有効利用が

確立されたら、高齢者の引きこもり防止にも役立つと思うが、行政で指導できないか。

子育て支援課長 町では各小学校で、放課後児童クラブを運営している。

環境問題

議員 有田川は、「ハヤ」

が多く生息する河川として知られている。近年「カワウ」が増えて、二里大橋から上流まで生息域が広がっている。ハヤのみならず、在来種の小魚が絶滅しないかと危惧する。



▲「オヤニラミ」(通称ヨンメヒンメ)

長崎県では、絶滅した絶滅危惧種の「オヤニラミ」という魚が、有田には、まだ生息している。

カワウをどのように駆除するかの方法も難しいと思うが、環境省も有害鳥と言っているのだから、何か対策がないものか。

農林課長 現時点では、農業被害はないが、近隣市町とも協議したい。

学校での自転車走行の指導状況は

答 定期的にルール・マナーなどの走行指導を行っている



原田 一宏 議員

自転車事故の危険性

議員 車道を2～3列になつて走行する自転車に危険を感じるが、町内の自転車事故の状況は。

総務課長 警察によると、対自動車が平成29年3件、同30年・令和元年7月までで0件（小中高生）、自転車相互が平成29年1件（成人）である。

議員 けがの状況や原因は。

総務課長 把握していない。

議員 学校における自転車走行の指導状況は。

教育長 定期的に交通安全教室を開催し、運転マナーの指導を行っている。さらに、長期休暇や休日の前・下校時にも走行指導を行っている。

議員 自転車保険の加入状況は。

学校教育課長 中学1年生に入学する際、PTAが団体保障の総合保険保障制度の加入を勧めている。

るが、加入状況は低い。

また、自転車購入・点検の折に、T Sマーク保険

（2000円で加入できる制度）もあるのに、加入率を上げていければと思っている。

議員 観光客への対応は。

商工観光課長 レンタサイクルの利用上の注意について、多言語で記載した印刷物を配布している。また、レンタサイクルはすべてT Sマーク付き保険に加入している。



▲T Sマーク(左)



T Sマーク付きレンタサイクル(右)

ふるさと納税

議員 ふるさと応援寄付金の利用用途は。

総務課長 使い道は、財源充当で行っている。主なものは、小中学校のICT機器の更新と無線LANの整備、集落防犯灯LED取り付け補助、消防団の活動服の購入、給食室の施設修繕と備品購入などがある。

議員 利用用途の「有田の原風景の保存と活用に関する事業」「ふるさとおまかせ応援」で、陶山神社の磁器製鳥居の破損修繕ができないか。

町長 観光面では積極的なと思っているが、神社仏閣ということもあり、ふるさと納税などの目的をきちんと謳った上での方法を模索してみたい。

議員 以前質問した、返礼品としての共立病院での「人間ドック」の件はどうだったか。

総務課長 人間ドックだ

けではなかなか難しいので、今後の検討課題になったままである。

議員 有田の観光・宿泊・食事・人間ドックという具合に、何点か組み合わせた返礼を考えてみてはどうか。

町長 医療スタッフが整った時点で、それらを組み合わせたパッケージ返礼ができればと思っている。

有田焼
未来プロジェクト

議員 400年事業後の継続事業として、有田焼未来プロジェクトが発足し、実質昨年より事業を展開しているが、今後の方向性・方針は。

商工観光課長 組織には業界団体や事業者が加入しているが、いろいろな考えや目指す方向性も多様化している。未来を考えた場合、他産地と差別化できる高付加価値の製品を作ることが重要で、

有田焼の文化や価値を高めるブランディング・後継者育成にも力を注いで行くべきと思っている。

議員 6月議会の折、今年度の未来プロジェクトの説明を受けたが、海外販路開拓調査事業の詳細説明がないまま、議会最終日に簡単な説明しかなかった。なぜ詳細説明がなかったのか。

商工観光課長 6月議会終了後に未来プロジェクトの総会が開催され、そこで承認されなければならなかったもので、時間的に十分な説明ができなかった。

議員 何か隠したようにも取れ、何かしらの忖度があったかとも考えられる。今後そういうことがないようきちんとした説明をお願いする。



古賀 四郎 議員

窯業界再生策と企業誘致

答 海外向けにはジェット口と協議

窯業界への支援体制

議員 窯業界の経済状況が良くない。10月には最低賃金が改定され、昨年の県内市町の平均所得は、236万8千円で有田町は県内最下位だった。少子高齢化が進み、町人口も2万人を切り労働人口も減少している。今後の陶磁器産業をどう考えるのか。

町長 現在は有田焼未来プロジェクトを通じ支援をしている。海外販路について、ジェット口と何かできないか協議している。又、資金的には県と連携し体制を整えたい。

議員 海外販路については、今までいくつかのプロジェクトがあつたが、その経験を活かし、行政がある程度関われば、信用力も上がるしスムーズに取り引きが行われていくのではないか。

町長 民間事業なので行政が立ち入る事は控えた

い。ただし、過程において必要ならアドバイスはできる。

議員 賃金格差、労働力の減少（少子高齢化のため）又、例年4月になれば100人を超える若者が、有田を離れる現実がある。最低賃金も10月に改定される状況を踏まえれば、ますます陶磁器産業は厳しくなると思うが、企業誘致企業と窯業界との共存はできるのか。

町長 窯業の技術を生かした関連策を絡めていくような形でできればと考えている。

労働力に関しては近隣市町との連携を図れる。窯業界との共存は、誘致企業の業種として陶磁器産業を活かせる企業を選別して交渉している。今後は、連携会議を組織する武雄市、嬉野市とも浮揚策を模索していく。



▲氾濫する河川

河川清掃

議員 春と秋の違いは。

住民環境課長 春は町内美化運動に位置づけられ、空き缶拾いなど、町内美化に協力していただいている。

建設課長 秋の河川清掃は、県と除草の業務委託契約を提携して、各区単位に県より対価が支払われ実施されている。

議員 地区によっては不足金制度などあり、高

齢化、人員不足などにより人材確保には苦勞しているが、対策は。

建設課長 地区ごとに考え方があるので町からは返答できない。

議員 秋の河川清掃では区が対価を求めなければ免除されるとの判断で良いのか。



▲土砂の堆積物

建設課長 受託を受ける河川の区域は原則そつであるが、地域の美化に努めていただきたい。

議員 8月の大雨で小さな川までも大きな石や土砂が流れ、川底が浅くなった箇所が多い。

防災面からも浚渫工事の要望が多いのではないのか。

建設課長 県の基準では河川断面の3分の1の堆積物で浚渫する基準である。

議員 今回の大雨は1時間100ミリ以上の雨が降って、土砂が堆積している状態で、河川の増水、土砂崩れの危険からの避難者の方が多かった。

防災上の観点から、5カ年計画くらいで各区と場所の選定を協議し、川上からの浚渫工事を協議していただきたい。

※浚渫（しゅんせつ）工事
川底の堆積物を取り除くこと

貧困家庭への対策は

答 相談には親切・丁寧な対応を心掛けている



福島 日人士 議員

子どもの貧困対策

▽子どもの貧困の状況

議員 日本の子どもの相対的貧困は「現代社会に生きる普通の子どもの生活、例えば、学校に行く、クラブ活動をし、友達と普通に遊び、そして希望すれば、高校程度の高等教育を受けられる。そのような生活さえもできない状況」と言える。

2015年、子どもの相対的貧困率は13・9%、中でもひとり親家庭の貧困率は50・8%と厳しい状況にある。また、OECDに加盟する41カ国中子どもの貧困は高い順から14番目である。町内の子どもの貧困問題への認識、状況は。

子育て支援課長 本年3月に実施した子どものいる世帯の状況調査結果報告になるが、生活困窮世帯では、塾や習い事はしていないと回答された家庭が44・8%である。ま

た、このような世帯の悩みに大きいものとして子どもの教育費、進学、受験があげられている。

▽貧困が与える影響とその原因

議員 義務教育の大切な小学・中学の9年間で、子どもの貧困は学力、心理行動にも影響を与えている。例えば、子どもの自己肯定感は貧困層以外の子どもと比較して低いものとなっている。自己肯定感は、それを持つことにより、人は積極的に意欲的に経験を積み重ね、満足感を持ち、自己に対しても他者に対しても受容的でありえるので、将来社会参加するうえで極めて重要なものと言えるが、どのように考えるか。

教育長 子ども期の貧困は、生きていく意欲を失わせている。一概に経済的貧困だけではなく、機会の貧困、関係性の貧困、自信を持てない自己肯定感の低さなどがあると思

う。

この様な状況で子どもたちが自分の将来をあきらめてしまう、意欲が低下、無気力になる、学校でも気になる様な子どもたちに対し、気持ち的に寄り添いながら、共感的な態度で対応していく学習支援や学力保障などが大事である。

子ども自身に目標を設定させたり、努力することとを設定させることにより、自己肯定感を持てるように、学校と連携し教育指導をしていく。

▽貧困家庭への支援・対策

議員 深刻な状況にある貧困家庭（特に保育所、幼稚園に通園していない貧困家庭）への支援や低学力の子どもに対する支援など、行政として、きめ細かな対応が必要ではないか。

子育て支援課長 深刻な家庭の特定は、プライバシーなどの問題もあり、

まず、広報誌での紹介、いろんな手続きの際に情報の提供をしている。相談があれば親切、丁寧な対応を心がけている。

子ども・子育て家庭への支援

議員 今の日本は子どもや子育て家庭を取り巻く環境の変化により、地域社会の子育て機能が大きく低下している。

例えば、子どもの犯罪、いじめや不登校、引きこもり、自殺、そして児童虐待などが深刻な社会問題となっている。町の支援対策の認識は。

子育て支援課長 当町では学校の登下校の折、子ども見守り隊の活動により子どもの安全、更には朝の挨拶運動など、コミニティの醸成に大いに寄与していただいている。
議員 子育て支援の対策として、公的な施策に先立って、子ども食堂は全国で、いま2000カ所

以上と急増しているが、この様な支援は。



▲見守り隊の活動

子育て支援課長 子ども食堂については、先月8月3日に社会福祉協議会より「オレンジ食堂」を開催されフードバンクの食材を利用し、子どもたちに料理を作ってもらっている。行政も協力しながら応援していきたい。



今泉 藤一郎 議員

上下水道管の老朽対策に新技術導入を

答 水は大切にぜひ精査して活用したい

汚い防火水槽

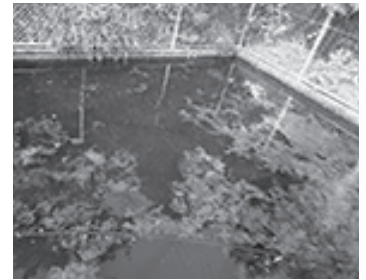
議員 消火栓及び防火水槽の設置数と管理義務者は、どのようになっているのか。

総務課長 消火栓317基、防火水槽110基。内、フタ無し水槽は20基で、昔からある水槽は、管理契約の締結はないが、地元の区に管理をしてもらっている。

議員 この防火水槽の水中にはウシガエルが生息し、ヘビの死骸が浮いていて藻が繁茂し、水面が緑色で、水自体が汚い状態だった。火災になった場合でもこの水は使用して欲しくないと思っただが、環境、衛生面からしても、どのように思うのか。

総務課長 適切ではないと判断している。

議員 地表に露出する防火水槽の管理は、今後どのような方法を用いれば良いと考えるのか。



▲町内某所の防火水槽

総務課長 消防団には器具点検の折に、それと消防署にも年に1回は点検を行ってもらい、きちんと管理を行って頂きたい。町としても補助金も用意しているので、対応してもらいたい。

上・下水道料金の抑制をはかれ

▽上・下水道料金の抑制

議員 有田ダムは57年経過し、竜門ダムが42年経過、古木場ダムは38年経過をしているが、水道配水管の耐用年数と総延長は、また、布設替えをした場合の1km単価と総費用は。

上下水道課長 耐用年数

は40年で、271km。1km当たりの単価は5,000万円で、総額は約135億円になる。

議員 単純に、1件当たりの負担額はいくらで、現在の水道料で維持できるのか。また負担は誰がするのか。

上下水道課長 給水件数は8,201件で、1件当たり約165万円となり、利用者負担となる。今まで以上に経費が掛かり、水道料金の見直しが必要になってくる。

議員 平成30年度決算書で、借入残高は約13億円となっている。

平成30年度決算では、水道配水管の漏水や破裂によって、喪失した水道水の損失額は。

上下水道課長 年間に漏水水量などは11・2%で約24万m³。原水価格で4,340万円となり、給水価格では4,633万円になる。

議員 平成28年度、全国水道料金ランキング1、

264事業者で、20mの料金は全国平均で3,227円となっている。将来的には有田は高くなると思うが、今後の料金はどうなるのか。

上下水道課長 有田町は20mで3,790円だが、今後見直しが必要となる。

▽フラクタの取り組み

議員 人工知能と機械学習を駆使して、老朽化による漏水や破裂箇所を事前にピンポイントで示し、修繕費用を抑制するための、ソフトウェアを開発し提供する会社（フラクタ）がある。すでに、川崎市とパートナーシップ

契約を締結し、全水道管路において、劣化予測技術精度の実証検証がなされている。年末頃までに解析ができる予定だが、調査、研究して将来的に活かして欲しい。

町長 水は大切なものなのでフラクタの事を調べた。素晴らしい技術でありぜひ活用し精査したい。

上下水道課長 川崎市の情報収集し、取り組み内容などの確認を行いたい。

▽カナシップ工法

議員 既設の下水道管の中に、樹脂性の自立更生管を引き込むだけの工法で、布設費の大幅な工期の短縮や費用縮減ができる。福岡市に支部があり、太宰府市内の一部で実用されている。これと、上水道更生管も同様で認可取得までは、時間は要しないとの事だが活用を。



▲カナシップ工法

町長 費用や工期の短縮など大幅なメリットを感じる。ぜひ担当職員に行ってもらい前向きに取り入れたい。

食品ロス削減は経済的な面と人間性も問われるのでは

答 食品ロス削減へ向けて、新しい取り組みをしたい



蒲原 多三男 議員

食品ロスの現況は

議員 食品ロス・食品廃棄物の問題は、国際社会及び国内でも経済的な面とあわせ、人としての生き方も問われている。更に地球環境から見て、

大きな課題となり、早急な対応が求められている。現状では、本来食べられるのにも関わらず捨てられてしまうという「食品ロス」が、平成28年は643万トンと国の報告がある。有田町における食品廃棄物の推計量はどうか。

住民環境課長 平成30年度では食料系廃棄物（食べられるもの含む）全体で、約1,200トンである。

議員 643万トンとは、私たち国民一人が、毎日ご飯を茶碗一杯捨てている量になる。数値目標として、国は2030年度までに食品ロスを半減すると、昨年閣議決定した。

今年の5月31日公布の法律「食品ロス削減推進法」では国、地方自治体、食品事業者、消費者の各自に削減の義務づけがある。これを受けての町としての取り組みは。

住民環境課長 現在はない。

議員 まずは「食品ロス」認知のため、広報・啓発の継続的な取り組みで、町民の方々への周知と意識付けを。

▽食品ロス削減への取り組み

議員 食品関連事業者に対しては、特に継続性もあるので重点的にやってもらいたい。2年前の3月議会に提案した3010運動を再度、確認。宴会などで最初の30分は自



▲捨てられている食品

席で、締めめの10分も自席へ戻り料理を食す。この事は覚えがあるか。

教育長 しつかりと記憶に残っている。

議員 佐賀市では、イベントや講演会・行事の参加者に「食品ロス」へのアンケートを配布して、その場で回収をする運動を4年間行い、市民の意識向上に努めている。今後は事業者の方への働き

掛けとして、「食品ロス削減運動推進店」のシールやラベルなどを作り啓発としては、
商工観光課長 商工会議所や有田料飲店組合に加入している47店舗とも連携を取り、進めていければと思う。

議員 より広い分野の方への呼びかけを。

町長 3010運動など「食品ロス削減」への取り組みを商工会議所や事業者へ呼びかけたい。

まずは、身の回りのできる事、家庭での食品ロス削減の日を決めるなどの工夫もあるのではないか。

▽高齢者見守りサービス「どこシル伝言板」の活用

議員 全国で認知症などによる徘徊で毎年、数千人が行方不明者となり保護されている現状がある。そこで「どこシル伝言板」を活用している自治体がある。今年の時点で23都県ある。QRコードを読めばその人のことが分かるシールである。自治体の負担は約3万円、一人の負担は2〜3千円。佐賀県では嬉野市が取り入れているが。

健康福祉課長 介護保険サービスでGPS（現在地を衛星で測るシステム）にて、認知症徘徊探知機が利用できるが、これは本人が感知器を持つて外出しなければならぬ。持ち物にシールとして貼るのは簡単であり、嬉野市へ尋ねて検討する。



▲どこシル伝言板のシールの見本

議会傍聴者アンケートを紹介

6月定例会の会期中、6日に老人クラブ連合会有田支部の女性部より、議会の傍聴に来ていただきました。

傍聴者34人を対象にアンケート調査され、その結果を提供いただきましたので一部紹介いたします。



1、議場についての印象はどうでしたか。

□広さは ちょうど良い……………27人
□明るさは ちょうど良い……………31人
□音声は 聞き取りやすかった…26人

せまい……………7人
もう少し明るく……………0人
もう少し聞きやすく…4人

2、議員の質問の内容や様子などはどうでしたか

□とり上げた内容は 身近なものだった…24人
□話し方は よくわかった……………13人

よくわからなかった……………9人
もう少しわかりやすく…11人

3、議員さんの質問に答える人たちはどうでしたか。

□内容は 質問によく答えていた…30人
□態度は まじめだった……………30人

ずれている感じだった……………2人
もう少し誠実に……………1人

4、議会の感想と要望（一部抜粋）

- ・身近な議題で良かった。
- ・土地、建物の保全の話はむずかしく感じた。
- ・答弁に対する議員の意見もほしかった。
- ・子どもの事や町民の事を考えておられる。
- ・議員さんは自分の言葉にしてはっきり口に出してほしい。

議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。
ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。
☎46-2117

■議長交際費支出状況(令和元年7月～9月)

項目	件数	支出額	備 考
会費	2	5,000円	商工会議所議員総会会費ほか1件
雑費	—	—	
合計	2	5,000円	



▲ドイツ・マイセン市 アルブレヒト城

議会広報発行特別委員
委員長 福島日人士
副委員長 古賀 四郎
委員 諸隈 洋介
委員 岳川 淳彦
委員 樋渡 徹
委員長 立部 正則

マイセン姉妹都市提携40周年記念事業で、マイセン市と首都ベルリンを訪れた。心地よい季節の中、ワイン祭りの有田ギヤラリーで日本酒や抹茶を振る舞い、書道や折り紙、水引などの日本文化を紹介した。また、ベルリンの日本大使館では15代柿右衛門さんを交えた講演の後の八木毅駐独全権大使の話で、「有田町とマイセン市のような青少年の交流を含めた草の根のコミュニケーションを40年も続けてこられたことに敬意を払う」との言葉に感動した。歴史を作った先人たちに感謝。
(洋介)

